

科目名		演習 I (国際政治学)	
担当教員	小笠原高雪	科目区分	演習
開講区分	通年	単位数	4単位
曜日時限	火曜・2時限	開講年次	1年
到達目標	国際政治分野における修士論文の草稿を作成する。		
授業概要	<p>学術論文には独創性を要求される。既存の研究に対し、何らかの新たな要素を付加するものでなければ、読者は面白味を感じない。学術論文には論理性と実証性も要求される。議論の展開に矛盾がなく、要所が証拠によって裏付けられているのでなければ、読者は説得力を感じない。以上の諸条件に近づくために、研究計画の中間報告を求め、それをめぐって討議と指導を行なう。また、履修者の研究に役立つような論文を講読し、それをめぐって討議と指導を行なう。</p>		
授業計画			
回数	内容		
第1回	論文の書き方を学ぶのに有益な論文を講読する		
第2回	論文の書き方を学ぶのに有益な論文を講読する		
第3回	論文の書き方を学ぶのに有益な論文を講読する		
第4回	問題意識の涵養に有益な論文を講読する		
第5回	問題意識の涵養に有益な論文を講読する		
第6回	問題意識の涵養に有益な論文を講読する		
第7回	主題の報告を求め討議と指導を行なう		
第8回	主題の報告を求め討議と指導を行なう		
第9回	主題の報告を求め討議と指導を行なう		
第10回	文献資料の報告を求め必要な助言を行う		
第11回	文献資料の報告を求め必要な助言を行う		
第12回	文献資料の報告を求め必要な助言を行う		
第13回	構成の報告を求め討議と指導を行なう		
第14回	構成の報告を求め討議と指導を行なう		
第15回	構成の報告を求め討議と指導を行なう		
第16回	論文の書き方を学ぶのに有益な論文を講読する		
第17回	論文の書き方を学ぶのに有益な論文を講読する		
第18回	論文の書き方を学ぶのに有益な論文を講読する		
第19回	問題意識の涵養に有益な論文を講読する		
第20回	問題意識の涵養に有益な論文を講読する		
第21回	問題意識の涵養に有益な論文を講読する		
第22回	主題の報告を求め討議と指導を行なう		
第23回	主題の報告を求め討議と指導を行なう		
第24回	主題の報告を求め討議と指導を行なう		
第25回	文献資料の報告を求め必要な助言を行う		
第26回	文献資料の報告を求め必要な助言を行う		
第27回	文献資料の報告を求め必要な助言を行う		
第28回	構成の報告を求め討議と指導を行なう		
第29回	構成の報告を求め討議と指導を行なう		
第30回	構成の報告を求め討議と指導を行なう		
準備学習等 (課題・予習・復習・調査等)	報告の準備、文献の予習		
評価方法・基準 ・講評の方法	報告・討議(50%)、論文草稿(50%)によって評価する。 講評は授業のなかで随時伝える。		

テキスト・参考書	戸山田和久『新版 論文の教室』、NHK出版、2012年 花井等／若松篤『論文の書き方マニュアル』、有斐閣、2014年 スティーヴン・ヴァン・エラ（野口／渡辺訳）『政治学のリサーチメソッド』、勁草書房、2009年
前年度の授業をふまえた今年度の授業方針	肯定的な評価が多かったので前年度の踏襲を基本とするが、なかでも双方向的な授業方法について一層の充実を考えている。
学生へのメッセージ	
授業に参考となるサイト	
関連する画像	
その他・備考	